

平成 25 年度 名古屋市行政評価
外部評価資料

グループ	事業番号
B	5
事業名	
名古屋まつり負担金	

〈当該事業の中期戦略ビジョンにおける位置づけ〉

施策	28	歴史・文化に根ざした魅力を大切にし、情報発信します						
展開	1	名古屋アイデンティティの確立						
事項 番号	ページ	事業名	25年度予算額(千円)		事業内容	評価 年度	総務局の意見	局名
				一般財源				
1179		名古屋まつり負担金	111,000	111,000	毎年秋の風物詩として、郷土英傑行列をはじめとした各種行列・会場行事などを中心とした名古屋まつりを実施。	23	[改善・見直し] 本市の魅力は今以上に発信していくために、これまで以上に名古屋の特色や魅力を生かした企画の検討などを行うとともに、市内の企業等に協力を働きかけることで、まつりの盛り上げを図り、あわせて本市の負担軽減を図っていく必要があるのではないか。	総務局
1180		歴史文化普及啓発事業	44,000	17,000	歴史的建造物や文化資産を活用して、名古屋独自の歴史や文化に根ざしたイベントを実施する。			市民経済局

名古屋まつり負担金

名古屋まつりの概要

昭和30年に、市民が楽しめるような総合的なレクリエーション行事として、第1回名古屋まつりが開催されました。

まつりを通じて、市内外の多くの方に、名古屋の伝統、文化、魅力に触れていただくことを目的として、郷土英傑行列をはじめとした行列行事と、栄を中心とする会場での会場行事を行っており、今年で第59回目を迎えます。

名古屋まつりは、愛知県・名古屋市・名古屋商工会議所が主催者となり、名古屋まつり協進会を組織して、多方面の関係団体（協賛企業・愛知県警察・陸上自衛隊・ボランティアの方など）の協力を得ながら実施されています。

事業費の内訳（名古屋まつり協進会平成25年度予算）

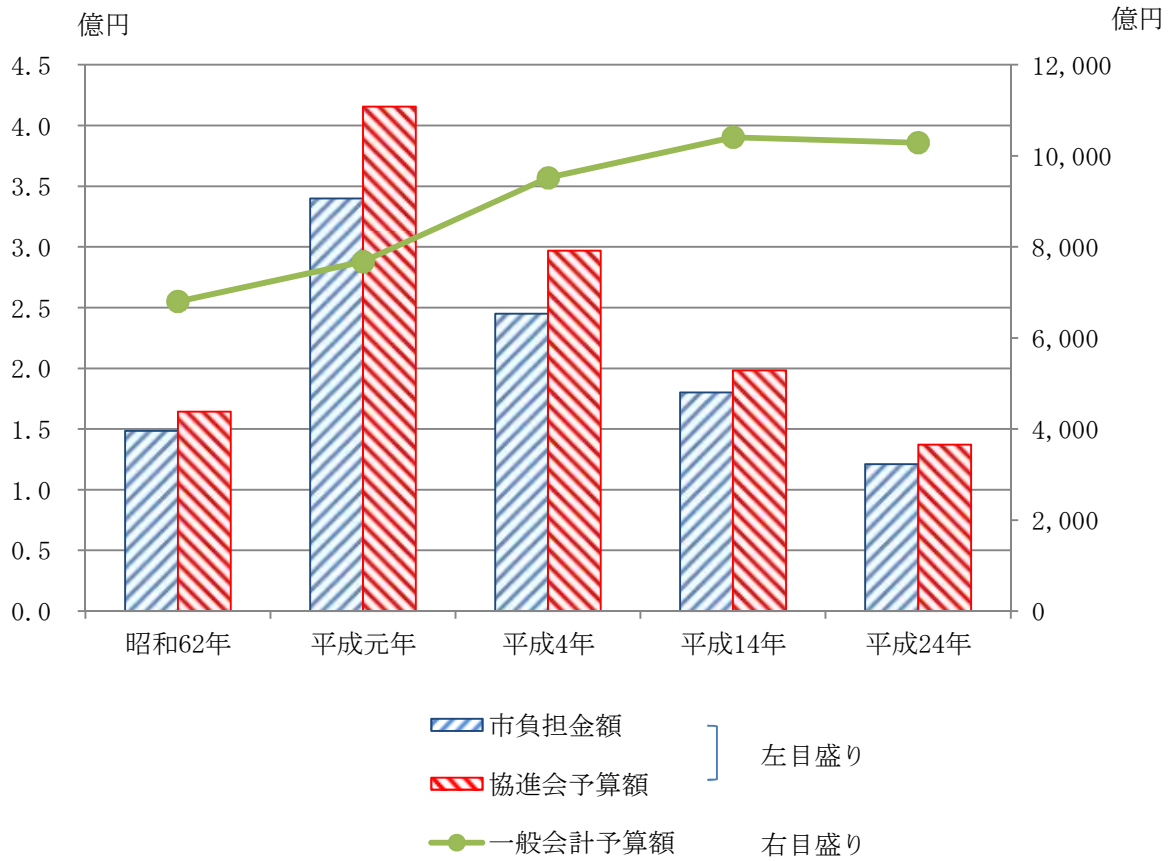
● 収入

事 項 名	千円
主催者負担金	112,000
愛知県	500
名古屋市	111,000
名古屋商工会議所	500
企業などからの寄附金	7,500
前年度からの繰越金	2,550
雑収入	433
計	122,483

● 支出

事 項 名	千円
ポスター作成などの宣伝に要する経費	10,686
行事費	107,928
郷土英傑行列など行列に要する経費	86,575
会場設営・運営などに要する経費	21,353
その他一般事務費	3,869
計	122,483

負担金などの推移



	昭和62年	平成元年	平成4年	平成14年	平成24年
市負担金額	1億4,860万円	3億4,000万円	2億4,500万円	1億8,000万円	1億2,100万円
協進会 予算額	1億6,429万円	4億1,556万円	2億9,700万円	1億9,824万円	1億3,716万円
一般会計 予算額	6,800億円	7,678億円	9,520億円	1兆0,408億円	1兆0,288億円

平成24年度 第58回名古屋まつり概要

- 日 程 平成24年10月20日（土）、21日（日）を中心に実施
- 来場者数 過去2番目となる約229万人
- 行列行事
郷土英傑行列・山車揃・神楽揃などの豪華絢爛な時代行列が名古屋の中心街を練り歩きました。
土曜日：名古屋駅→栄→矢場町の約3km 約1000人
日曜日：市役所→栄→矢場町の約2.5km 約3500人
- 会場行事
なごやめしや武将隊・姫隊、ご当地アイドルのステージなどを実施しました。
- 施設の無料開放
毎回、名古屋まつり当日の日曜日に、市内施設の無料開放を実施しており、平成24年度は名古屋城をはじめとする11施設を無料開放しました。

<会場行事>

【ビアパーク ビール&なごやめし】



【武将隊のステージ】



【アイドルステージ】



【東北支援企画・わっしょい太鼓まつり】



【なごや観光文化ごえん市】



【郷土芸能祭】



【日本古武道大会】



【学生企画】



【ソーシャルタワーマーケット】



<行列行事>

【郷土英傑行列】



【市指定文化財 山車揃】



【市文化財 神楽揃】



【子ども会みこしパレード】



【姉妹友好都市親善パレード】



【フラワーカーパレード】



【ナナちゃん隊】



【全国大会優勝チーム】

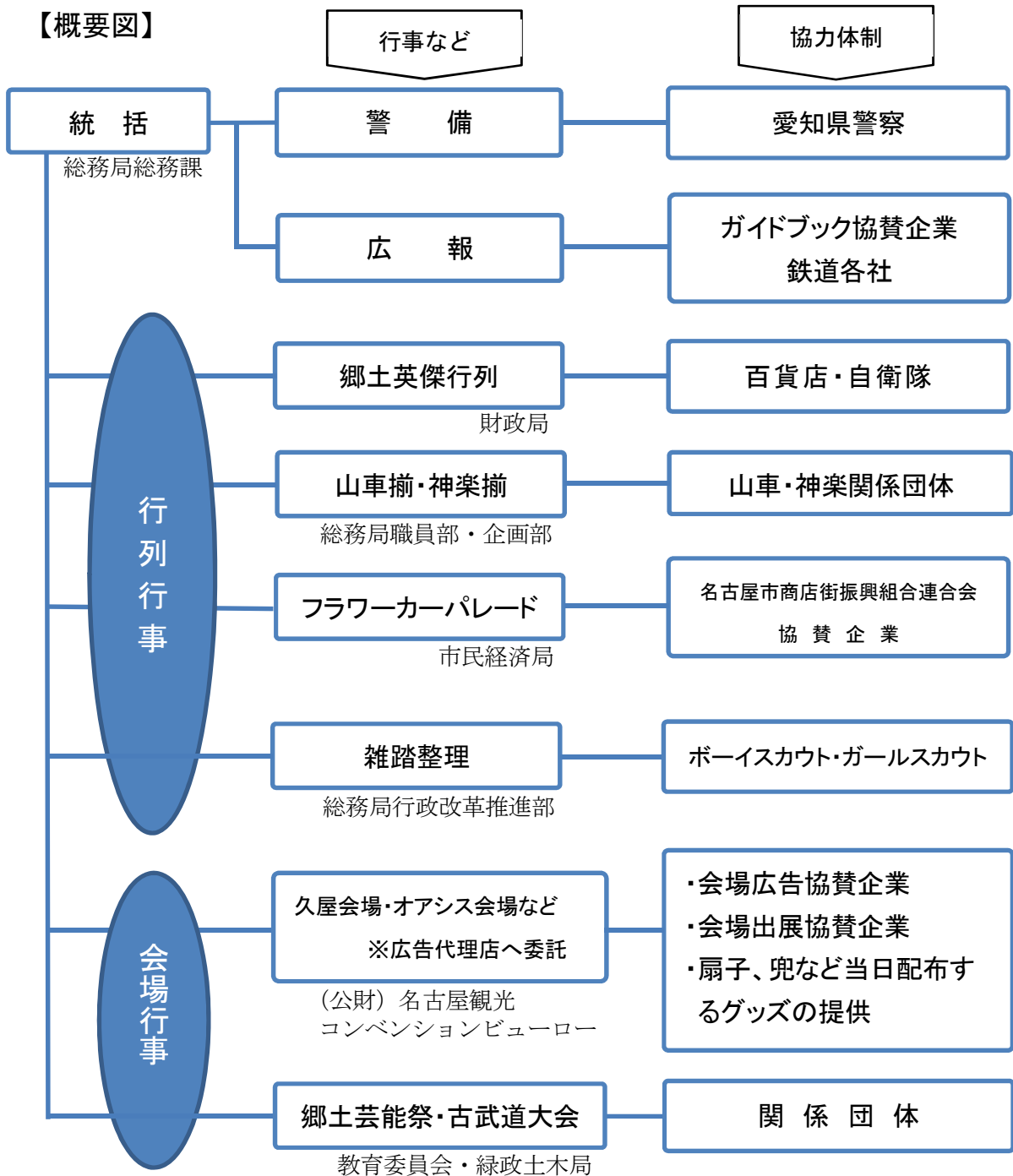


【ロンドンオリンピック・パラリンピック日本代表】



運営体制

名古屋まつりは、愛知県・名古屋市・名古屋商工会議所が主催者となり、名古屋まつり協進会（会長：名古屋市長）を組織して、市内の百貨店や商店街をはじめとする企業様、愛知県警察や陸上自衛隊、ボーイスカウト・ガールスカウトなどのボランティアの方々の協力を得ながら事業を実施しています。



20年前(平成4年・第38回)に実施していた主な事業

- 日本各地のまつりの再現 (光の伝統祭)
- 海外の舞踏
- 花バス
- ナゴヤ・バンド・フェスティバル
- 全国ラーメンコーナー
- 光のファンタジー



近年の主な改善・見直しの内容

- 公式ガイドブック冊子版の発行 (平成10年～)
平成18年からポケットサイズに
- 武将のふるさと愛知との連携 (平成18年～)
- メインポスターを三英傑の構図に (平成18年～)
- 行列に大河ドラマ主人公を配役 (平成18年～)
「功名が辻」山内一豊、「天地人」直江兼続など
- ナナちゃん隊の行列参加 (平成20年～)
市立桜台高校生徒による装飾・行列
- 全国大会優勝チーム等の行列参加 (平成21年～)
- 学生企画 (平成22年～)
市内大学生によるステージ・会場行事
- ソーシャルタワーマーケット (平成24年～)
生涯学習活動を行っているNPO (大ナゴヤ大学) による会場行事

【平成24年度公式ガイドブック】



【広報ポスター】



<平成4年>

<平成24年>

他の大都市の都市まつり

都市名	行事名等	メインイベント	主 催	平成25年事業費
札幌市	さっぽろ雪まつり H26 2/5～11 (約236万人)	大通会場 大雪像5基を含む約250基の雪像の制作 つどーむ会場 100mのチューブスライダーを含む3つの滑り台 すすきの会場 芸術的な氷像60基の制作 各会場で北海道の食・ステージイベントを楽しむことが出来る	さっぽろ雪まつり実行委員会 [名誉会長]市長 [会長]札幌観光協会会長 [構成]札幌市、札幌商工会議所、札幌観光協会、札幌市教育委員会を主催団体とした行政・民間団体で構成	事業費：約2億1,656万円 [内訳] 札幌市：1億6,440万円 市商工会議所：160万円 市観光協会：160万円 協賛金：2,163万円 事業収入：2,843万円 他雑収入・繰越金：50万円
横浜市	横浜開港祭 H25 6/8～9 (約75万人)	コーラス隊の合唱 レーザーと音楽と調和した花火大会などの様々なイベント	横浜開港祭協議会 [名誉会長]市長、商工会議所会頭 [会長]横浜青年会議所理事長	(非公開)
京都市	京の七夕 H25 8/3～12 (約73万人※)	平和や地球環境をはじめ、様々な願いを全国から募り、寺院・神社に託す	京の七夕実行委員会 [委員長]なし [構成]宗教団体代表、観光協会、青年会議所、商店連盟、京都府、京都市等	事業費：約1億1,500万円 [内訳] 京都市：5,000万円 京都府：5,000万円 市観光協会：300万円 他企業協賛・事業収入
大阪市	御堂筋フェスタ H25 5/12 (約39万人)	大阪のシンボルである御堂筋から情報発信することによる、にぎわいの創出	御堂筋にぎわい空間づくり実行委員会 [委員長]大阪市長 [構成]商店街振興会、商工会議所、経済同友会、コンベンション協会、国、府等	事業費：約6,000万円 [内訳] 大阪市：3,100万円 大阪府：1,550万円 協賛金等：1,329万円
神戸市	神戸まつり H25 5/19 (約71万人)	パレード、ステージイベント等実施	神戸市民祭協会 [会長]神戸市長 [構成]県、商工会議所等の民間団体	事業費：8,860万円 [内訳] 神戸市：5,350万円 兵庫県：80万円 協賛金/雑収入：2,480万円 繰越金：950万円
福岡市	博多どんたく港まつり H25 5/3～4 (約220万人)	明治通りにて実施するどんたくパレード	福岡市民の祭り振興会 [名誉会長]福岡市長 [会長]商工会議所会頭 [構成]福岡市、観光コンベンションビューロー、商工会議所を主催団体とした行政・民間団体で構成	事業費：5,433万円 [内訳] 市補助金等：2,880万円 協賛金等：1,982万円 栈敷関連収入：250万円 その他収入：230万円

※行事名等欄の()内数字は平成25年度来場者数(札幌市・京都市は平成24年度)

【さっぽろ雪まつり】



【横浜開港祭】



【京の七夕】



【御堂筋フェスタ】



【神戸まつり】



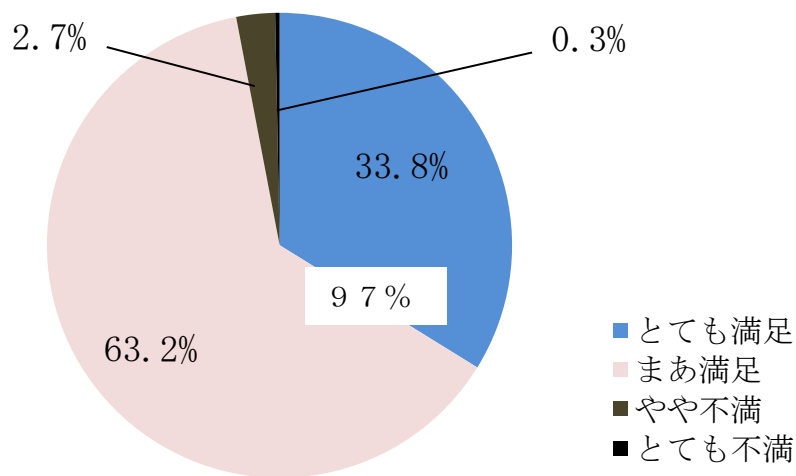
【博多どんたく港まつり】



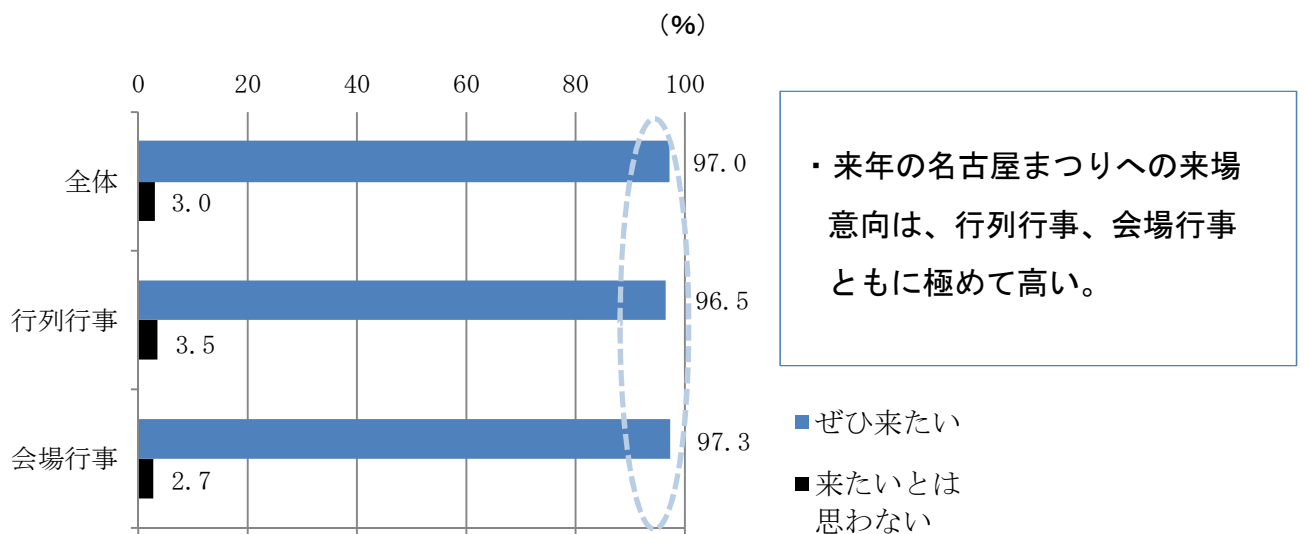
名古屋まつり来場者アンケート

- 実施時期 : 平成24年10月20日(土)・21日(日)
- 実施場所 : 名古屋まつり会場周辺
- 対象者 : 名古屋まつりへの来場者 1,004名

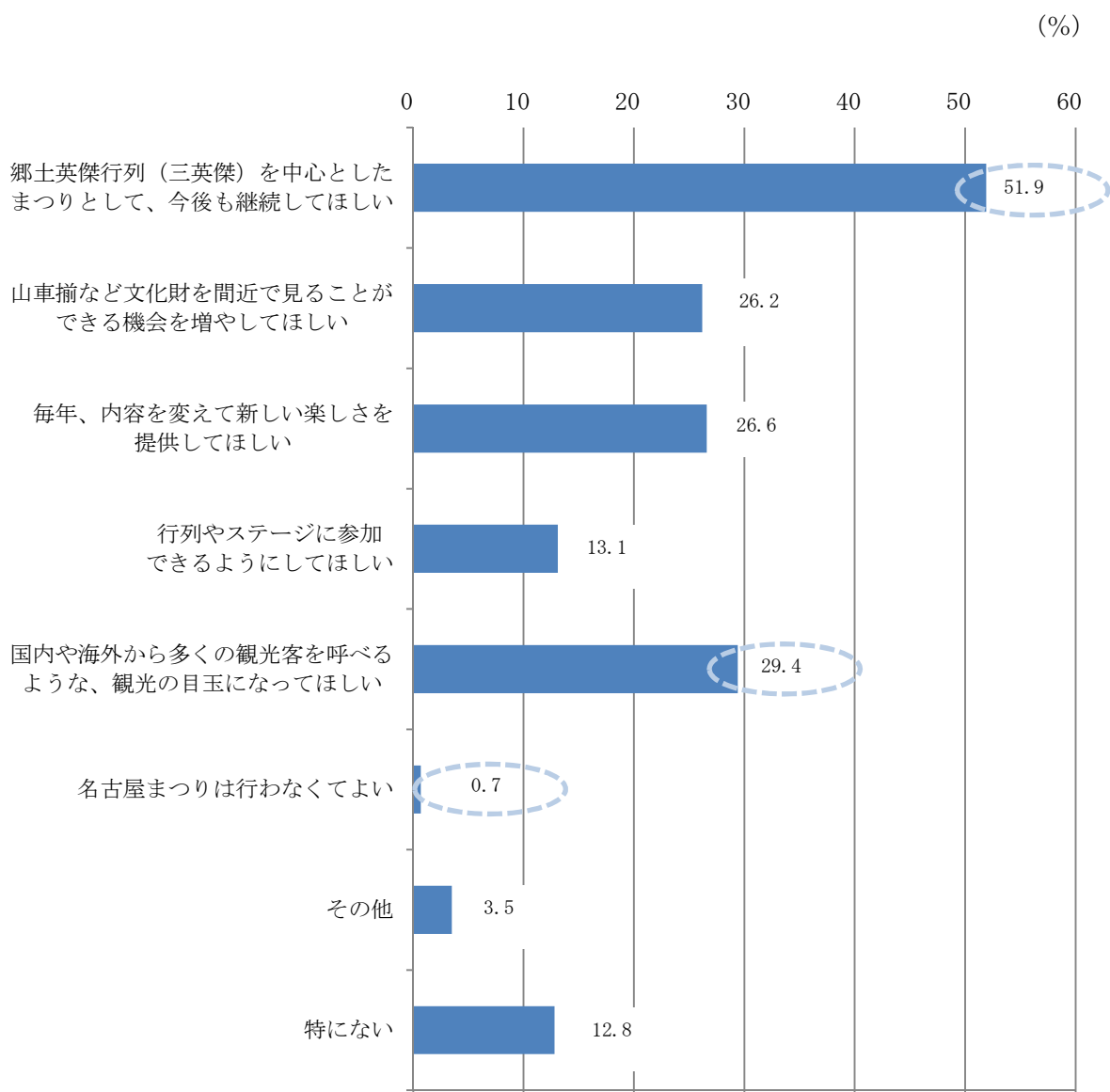
➤ 名古屋まつり来場後の満足度



➤ 来年のなごやまつりにまた来たいと思われますか？



➤ これからの名古屋まつりに期待することをお聞かせください。



- ・「英傑行列を中心としたまつりとして継続」を望む人が最も多い。
- ・次いで「多くの観光客が呼べる観光の目玉に」が続いた。
- ・「名古屋まつりは行わなくてよい」とする人はほとんどいなかった。

事項番号	1179		評 価 票		ソフト・施設	
事業名	名古屋まつり負担金					
ホームページ	http://www.city.nagoya.jp/shiminkeizai/page/0000001961.html					
作成部署	総務局	総務課	電話番号	972-2104		
中期戦略ビジョンに最も関連のある施策	施策	28	歴史・文化に根ざした魅力を大切にし、情報発信します			
	展開	1	名古屋アイデンティティの確立			
	主な事業	名古屋まつりの開催				
目的	対象(誰・何を)	市民及び本市来訪者				
	意図(どういう状態にしたいか)	多くの市民及び本市来訪者等に、名古屋まつりを通じて、市の伝統・文化・魅力に触れ、知ってもらいます。				
事業の内容	<p>名古屋まつりは、昭和30年に始まった名古屋の秋を彩るまつりであり、内容は以下のとおりです。</p> <p>○開催日:10月の第3土日を中心、構成員:名古屋市・愛知県・名古屋商工会議所、運営主体:名古屋まつり協進会、運営経費:3者の負担金及びその他寄付金等</p> <p>○行事内容:指定文化財「山車揃」・郷土英傑行列などの行列、郷土芸能祭・学生の企画などによる会場行事、市内文化観光施設の無料開放等</p>					
24年度の実施内容	<p>郷土英傑行列をはじめとした各行列及び会場行事を実施するとともに、日曜は、市内11か所の文化観光施設の無料開放を行いました。</p> <p>平成24年度は、ロンドンオリンピック・パラリンピック日本代表、全国大会制覇を成し遂げたチームに行列に参加いただくとともに、会場行事では、なごやめし博覧会と連携したビアパークや復興支援企画の東北観光PR等を実施しました。</p>					
施策への貢献	名古屋まつりを実施することにより、多くの方に市の伝統・文化・魅力に触れてもらうことができています。			施策貢献度 <input type="checkbox"/> A: 極めて大きい <input checked="" type="checkbox"/> B: 貢献あり <input type="checkbox"/> C: 貢献小さい		
指標	項目	23年度実績	24年度実績	計画・予定等	説明	事業の進捗状況
■ 実績 ■ 成果 □ その他	観客数	165万人	229万人	26年度	23年度は雨天により一部事業を中止	計画管理型
				235万人		<input type="checkbox"/> A: 順調 <input type="checkbox"/> B: やや遅れ <input type="checkbox"/> C: 遅れ
■ 実績 ■ 成果 □ その他	協賛協力企業団体数	86団体	95団体	26年度		成果経年比較型
				100団体		<input checked="" type="checkbox"/> A: 向上 <input type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 低下
□ 実績 □ 成果 □ その他				年度		25年度へ改善・見直し
□ 実績 □ 成果 □ その他				年度		<input type="checkbox"/> A: 廃止・抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> B: 改善・見直しあり <input type="checkbox"/> C: 改善・見直しなし
事業費(千円)		23年度決算額	24年度決算見込額	25年度予算額	備考・説明	事業にかかる経費の増減
事業費		121,000	121,000	111,000		<input checked="" type="checkbox"/> A: 減少 <input type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 増加
うち一般財源額		121,000	121,000	111,000		将来の財政負担
職員数(概数・人)		1.0	1.0	1.0		<input type="checkbox"/> A: 減少 <input checked="" type="checkbox"/> B: ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> C: 増加
職員人件費(概算)		8,430	8,420	8,320		
人件費を含めた費用		129,430	129,420	119,320		
公的関与の性質別区分	8	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業			行政の活動領域	D: 行政領域・小
実施方法 (該当するものすべて)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)		<input checked="" type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金		委託等拡大	
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随契)		<input type="checkbox"/> 直接実施(契約事務・交付事務等を除く)		<input checked="" type="checkbox"/> A: 拡大できない <input type="checkbox"/> B: 予定あり <input type="checkbox"/> C: 予定なし	
根拠法令・要綱等	名古屋まつり協進会規約					
開始年度	昭和30年度	終了予定年度	—			
総務局の意見	[改善・見直し] 本市の魅力は今以上に発信していくために、これまで以上に名古屋の特色や魅力を生かした企画の検討などを行うとともに、市内の企業等に協力を働きかけることで、まつりの盛り上げを図り、あわせて本市の負担軽減を図っていく必要があるのではないか。					

論点シート

事項番号	11	事業名	名古屋まつり負担金
総務局の意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="153 353 1439 492">○ 名古屋まつりは、市内外の方に本市の伝統・文化・魅力に触れてもらう上で、重要な役割を担っており、毎年秋に開催される名古屋を代表するまつりとして市民にも定着している。 <li data-bbox="153 546 1439 685">○ 平成24年度に実施した来場者アンケートによると、郷土英傑行列を中心としたまつりとして継続する声が多い中、新しい企画に対する期待も一定程度ある。 <li data-bbox="153 739 1439 878">○ そこで、他都市が主催するまつり等の手法も参考に、名古屋の特色や魅力を生かした企画を検討するなど、本市の魅力を今以上に発信していく必要があるのではないか。 <li data-bbox="153 931 1439 1164">○ また、名古屋まつりに要する費用については、平成24年度においては約90%を名古屋市が支出し、企業等からの協賛金は約5%にとどまっており、今後、名古屋全体として、さらなるまつりの盛り上げを図っていくため、本市としてもこれまで以上に市内の企業等に協力を働きかけるとともに、あわせて、本市の負担軽減を図っていく必要があるのではないか。 			
事業所管局の考え方			
<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="153 1321 1439 1751">○ 名古屋まつりは、昭和30年当初から、本市が経費の9割近くを負担してきた。本市負担金は、平成元年度の3億4千万円をピークに、3分の1程度となっており、平成25年度予算においても、前年度に比べ1千万円減額している。 経費節減に努め本市の負担金を減らしてきたが、事業の絞込みによって、企業からの協賛等も得られにくくなっている。そうしたなか、平成10年度からは企業の広告協賛を得て、ガイドブックを作成している。 厳しい状況ではあるが、今後も企業等の協力を得て、名古屋市全体としてまつりの盛り上げを図っていきたい。 <li data-bbox="153 1805 1439 1895">○ また、名古屋の魅力や文化を発信するため、他都市の大規模なまつり等を調査し、参考にしながら、さらなるPR策等を検討していきたい。 			